

MORES® CLUB

2024
Spring

information

モレスからのお知らせ



写真提供：第46回芦屋サマーカーニバル実行委員会

「第46回芦屋サマーカーニバル」に「モレスシート」誕生!! お食事付きのお席に100名様をご招待

芦屋の夏の風物詩「芦屋サマーカーニバル」は、今年は7月27日(土)の開催です。芦屋浜の夜空を美しく彩る花火ショーを満喫いただけるお席「モレスシート」をご用意しました。創業20周年を迎えたモレスからのささやかな夏のプレゼントです。

 詳細は公式Instagramで!

「第46回芦屋サマーカーニバル」モレスシートの詳細や応募方法は公式Instagramにて、決まり次第お知らせいたします。この機会にぜひフォローをお願いします。



法律・税務・ファイナンシャルプランなど

ご入居後の様々な問題に対応するご相談窓口を設置しております。

法律・相続・税務 相談窓口

ご入居後の住宅ローン控除や取得税などの税金相談、権利関係や近隣問題などの相談、相続に関する法律や税務の相談など、ご自宅の不動産にまつわる様々な課題を解決する相談窓口を設けています。



FP (ファイナンシャルプランナー) 相談窓口

ご転職やお引越、住宅ローンの借り換えや一括返済など、ライフプランや資金計画が変更となった場合には、ファイナンシャルプランの見直しが必要です。モレスでは、新築時と同様に、専属のファイナンシャルプランナーによる相談をお取り次ぎしています。



お電話でのお問い合わせ
(10:00~18:00/火・水定休)

0798-26-0100

〈公式WEBサイト〉

モレス

検索



MORES®
FOR FUTURE HOME

〈フェイスブック〉



〈Instagram〉



〈X〉(旧Twitter)



〈ライン〉



〈YouTubeチャンネル〉



株式会社モレス 〒662-0917 兵庫県西宮市与古道町1番13号

Copyright © 2024 MORES CO., LTD. All Right Reserved.



もっと、もっと。

この変わらぬ想いを、明日へ、未来へ。

みなさまのおかげをもちまして、創業20周年を迎えることができました。

私たちモレスは20年間で約1000棟の家をこの阪神間で建ててまいりました。

関西でも屈指の住宅地である西宮市・芦屋市・神戸市は、六甲山系を背に緑豊かな美しい街並みが広がる豊かな文化・文教の地であり、大阪・神戸への交通アクセスが良好な住宅地として栄えてきました。

その地で家づくりをするということは、その土地のポテンシャルに合ったスタイリッシュな外観、住みやすさを追求した導線や間取り、機能的で安全性能の高い建物を追求しなくてはなりません。

私たちモレスは、これからの20年もこれらを踏まえ、お客様の要望プラスアルファをご提案できるように、土地の開発・設計・施工・管理・アフターサービスまでワンストップでご提供できる企業として発展していきたいと考えています。

現状に満足せず、「モレス」という社名の源泉である「MORE(もっと、もっと。)」をテーマに、よりいっそう質の良い住まいをご提供してまいります。

これからのモレスに、どうぞご期待ください。

株式会社モレス
代表取締役 高沢 秀志

暮らし彩る
歳時記 01

爽やかな季節、心やすらぐひとときを



【新茶の淹れ方】

- ① 沸騰したお湯を湯呑に注ぎ、70～80°に冷まします。
- ② 1人あたり3～4gの茶葉を急須に入れ、湯呑みで冷ましたお湯を注いで蓋をし、1分ほど待ちます。
- ③ お茶を、湯呑みに少しづつ均等に最後の一滴まで注ぎます。

立春の日から数えて88日目の「八十八夜」、今年は5月1日がその日にあたります。いにしえより八十八夜に摘んだ新茶は、「飲むと元気で長生きできる」縁起物として重宝されてきました。新茶はその年の一番初めに出た新芽でつくられるもの。太陽光をあまり浴びていない新芽は、やわらかく、瑞々しい、まさに初物です。冬の間にじっくりと養分を蓄え、旨味と甘みの主成分であるテアニンが豊富で、渋みが少なく、おいしさにあふれています。爽やかな季節、旬の新茶をいただきながら、心やすらかなひとときを優雅にお楽しみください。

目次

contents

- 02 創業20周年のご挨拶
- 05 名建築を訪ねて
Vol.01 国指定重要文化財 ヨドコウ迎賓館【兵庫県 芦屋市】
- 09 モレスの住まい、モレスの人
#001 芦屋市 K様邸
芦屋の邸宅街に建つ
真っ白な四角の家
- 15 竣工物件のご紹介 MORES GALLERY
- 19 安心して暮らせるという品質を、もっと。
After Support
一生涯のお付きあい
- 21 MORES TOWN INFORMATION



MORES®
CLUB
2024 Spring

記念すべき「MORES CLUB」創刊号の表紙を飾るのは、大阪府の「洗練されたクローズデザインの家」。オープンな敷地にクローズ外構を利用して、プライバシー性を高めながら採光も確保できるプランをご提案。プライバシー、採光、風通し、回遊動線すべてを叶えた、ご家族が心地良く暮らすことのできるお住まいが実現しました。

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています

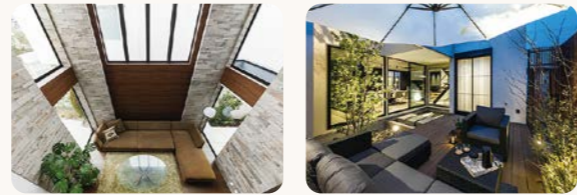


VISION FOR NEXT STAGE

これからも、住まいと暮らしの理想を求めて

VISION 01 | これからも変わらないモレスが大切にしている8つの「S」

安全性・快適性・デザイン性から、構造・断熱・素材・設備・品質管理やコストまで徹底してこだわること。不動産会社でありながら、建築とインテリアの専門家集団でもある私たちの豊富な経験と知識、斬新な発想力を活かすこと。私たちモレスは、時代がどんなに変わろうと決まらずに変わらない大切なことを8つの「S」に託し、従来の常識を超える感動やサプライズにあふれる住まいづくりに取り組んでまいります。



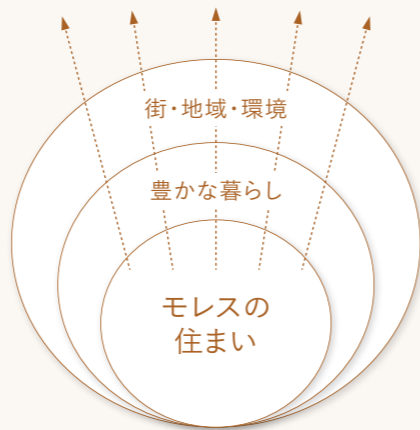
心を癒し、心から寛ぎ、心を動かす。私たちモレスの住まいが、人生に感動をもたらす存在でありたいと願っています



VISION 02 | 高品質な住まいづくりを基盤に暮らしへ、環境へ、社会へ

住まいは暮らしとともにあり、環境や社会と密接につながっています。私たちモレスは品と質を備えた住まいづくりを基盤として、よりいっそう環境や社会に配慮した取り組みを進めていきたいと考えています。この一環として、経済産業省よりZEHビルダー(※)の認定を受け、積極的にZEH普及に努めていきます。これにより住宅の省エネ化・省CO₂化が図られ、私たちの住まいづくりが環境にやさしい持続可能な社会の実現(SDGs)につながっていくことを目指していきます。

持続可能な社会の実現 (SDGs)



※ZEHビルダーとは

◎ZEH(ゼッチ)とは、「Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」のことで、「ゼロ・エネルギー住宅」とも呼ばれています。「高断熱」「省エネ」「創エネ」で住宅の一次エネルギー収支をほぼゼロにする住まいが、快適で経済的、安全で安心な暮らしを支えます。
◎ZEH(ゼッチ)ビルダーは、ZEH住宅を建てることを経済産業省から認定されたハウスメーカーや建築会社のことです。ZEH住宅の普及や、支援活動に取り組んでいます。

住まい | モレスならではの
高品質・デザイン性の高い独自の住まい

暮らし | 充実のアフターサポートにより
お客様の暮らしに寄り添い、お役に立つこと

- 街・地域・環境・社会**
- ◎ 街・地域への感謝と貢献
 - ◎ 環境先進住宅への取り組み
 - ◎ 持続可能な社会実現への貢献

住まいづくりの新次元に挑んできた
私たちモレス20年の歩みとこれから

「カッコいい家を創ろう」
この言葉が、モレスの原点です

「カッコいい」と感じる。それはきっと、その人、その人の感性に響くということ。そしてそれは、一人ひとりの美意識が満たされ、喜びに包まれることなのだと思います。

「カッコいい家を創ろう」この言葉を胸に、私たちはこの20年間、モレスにしかできない住まいづくりを目指してまいりました。

「デザインがカッコいい」「この場所に家があることがカッコいい」「間取り・プランがカッコいい」「省エネ住宅がカッコいい」など、オーナー様一人ひとりが思い描く「カッコいい」をお届けするために、オーナー様の声にひたむきに向き合い、理想を際立たせ、期待を超えるようご提案を重ね、世界にただ一つしかない「家」を創り上げてきました。

感性に響き、
美意識を満たす住まいを
これからも

建築家やインテリアコーディネーターなど、「家づくりのプロ」が集まる「級建築士事務所」でもあるモレス。個性豊かな「カッコいい家」を創る専門家たちが、お客様としっかり時間を共有しながら、デザイン性にあふれ、感性に響き、美意識を満たす住まいを、これからも創り続けてまいります。

多彩なご要望に応えるブランドラインナップ



MORES® PREMIUM

【モレスプレミアム】
完全自由設計×フルオーダー仕様。
注文住宅<最上位>ブランド。

MORES® STANDARD

【モレススタンダード】
提案型自由設計×カスタムセレクト仕様。
こだわりとバランス重視の注文住宅。

MORES® SELECTION

【モレスセレクション】
推奨プラン×カラーセレクト。
建築条件付き分譲地プラン。

History of MORES



これまでの20年の軌跡を、
これからの道程につないでいきます。

「水平ラインを意識した意匠が、空間の安定性を高めていますね。これがライトが提唱したブレイリー様式の特徴ですよ」と古谷。ピクチャーウィンドー越しに見える豊かな樹々の緑、連なる高窓から入り込む光と風の心地よさにも、「自然に溶け入るように、その地の風景や生命のリズムを乱さない」有機的建築を目指したF・L・ライトの思いがうかがえます。



1 館内にちりばめられた銅製の飾り金物は、一説では植物の葉がモチーフ。同じ造形でありながら、表面の緑青の状態によって異なる表情を見せている点も植物を思わせる



2 主素材である大谷石に刻まれた幾何学文様。温かな風合いと彫刻しやすい軟らかさを併せ持つこの石材はF・L・ライトのお気に入り、帝国ホテル旧館などにも多用されている

3 2階応接室の壁面上方に連なる小さな高窓は、室内に光と風を取り入れるための工夫。かつては天候や時間に応じて、使用人が一枚一枚開閉していたという



「ヨドコウ迎賓館」の豊かな空間は、丘陵の斜面に沿って、大小4つのフロアをずらしながら配置することで成り立っている。写真は模型の前に語り合う岩井館長(左)と古谷



飾り金物をはめ込んだ開口部が連なる3階和室前の廊下。陽光が差し込むと、木漏れ日を思わせる繊細な光がこの空間を満たすという

F・L・ライトが残してくれた
高台の名邸

「凛とした青空が広がる冬の一日、阪急「芦屋川」駅から徒歩北へ。ライト坂と呼ばれる急な坂道の左手にたたずむのが、近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトが設計した「ヨドコウ迎賓館」です。

今回、同館を訪れたのはモレス設計部の建築家・古谷雄一。「この森の中に、100年前の建築が今も存在している。それ自体が奇跡ですね」と、第一印象を語ります。

思いのほかシンプルで正面玄関から、館長の岩井忠之さんのご案内で、2階の応接室へ向かいます。印象的なのは、空間構成のコントラスト。階段や廊下、各室の出入口がやや小ぶりの一方、その先にある応接室は、広がりや印象づけるデザインとなつています。

「水平ラインを意識した意匠が、空間

名建築を訪ねて

モレスが目指す建築の理想を、名建築を訪ねるシリーズ。
第1回は、芦屋の高台にたたずむ名邸「ヨドコウ迎賓館」です。



国指定重要文化財
Vol. 01
ヨドコウ迎賓館
【兵庫県 芦屋市】

1924年の竣工時は、灘の酒造家・八代目山邑太左衛門の別荘だった。設計は帝国ホテル旧館や自由学園明日館なども手掛けた近代建築の3大巨匠の1人、フランク・ロイド・ライト。施工前に彼が帰国してしまったため、実施設計と施工監理は、弟子である遠藤新と南信が担当した。



玄関扉の向かい側に設けられた眺望スペース。館内とは異なる風景の広がり、驚く人も多いという



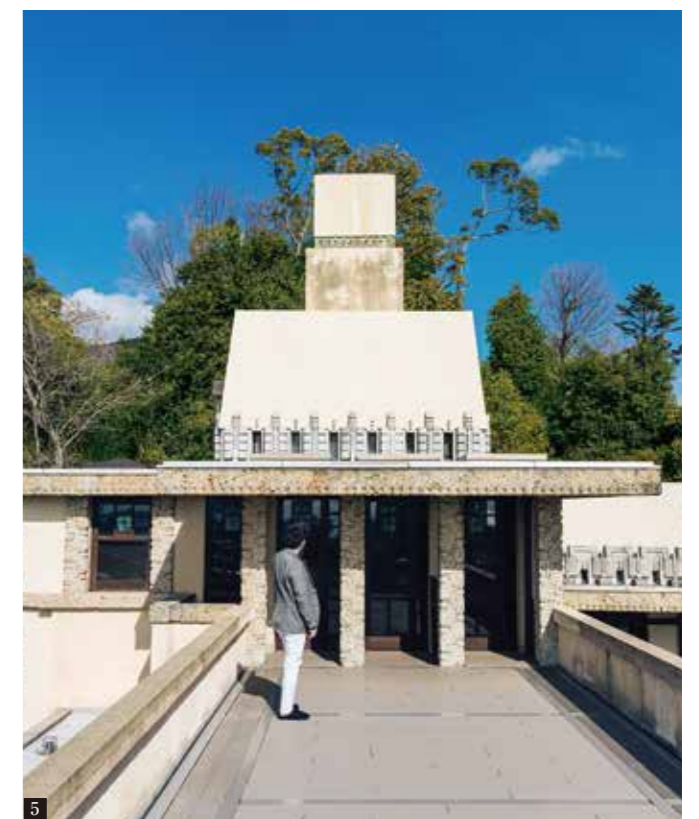
最上階にある食堂。抑えた位置にある暖炉や壁のモール材が天井の高さを印象付け、厳肅な雰囲気を高める

100年を経た今も
私たちの心を
感動で満たす建築

最上階の食堂も、F・L・ライトらしさが感じられる見どころの一つ。四角錐の天井と左右対称の構成は、教会のような厳肅さですが、巧みにデザインされた木の部材がその印象を和らげています。こうした丁寧なディテールも、彼ならではの生かされた繊細な意匠は、季節や時間によって移ろう深い陰影とともに、石造りの空間に温もりをもたらしています。

自然の息づかいを大事にした彼ですが、一方で居住設備の近代化にも貪欲でした。館内にはオール電化方式が採用され、洗面所や浴室には温水用蛇口が設置されています。感性に響く快適さと、暮らしに直結する便利さの二つを徹底的に追求し、感動的な空間に仕上げたF・L・ライト。それはまた、モレスが求めている住まいづくりにも共通するものです。

食堂の向こうには、広々としたバルコニーが続き、そこからは芦屋の市街地から大阪・神戸・瀬戸内海へと続く雄大な眺望が開けています。かつてはここで、屋外パーティーなども開かれていたのかもしれない。「夜景も見てみたかったな…」とつぶやく古谷とともに、この美しい邸宅を後にしました。

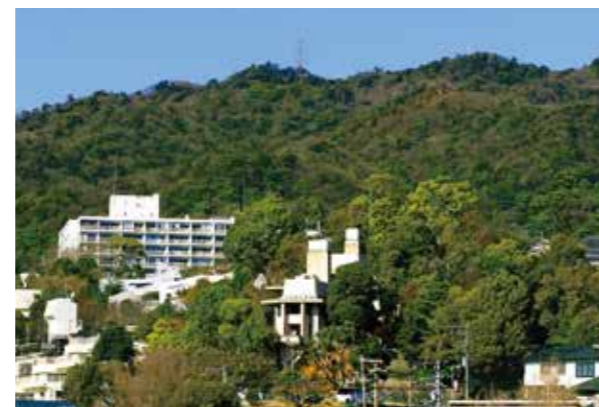


ヨドコウ迎賓館 (国指定重要文化財・旧山邑家住宅)

〒659-0096 兵庫県芦屋市山手町3-10
TEL:0797-38-1720 FAX:0797-38-1720
URL: https://www.yodoko-geihinkan.jp/

◎開館日/水・土・日曜日と祝日
◎開館時間/10:00~16:00(入館は15:30まで)
※開館日・開館時間などにつきましては、直接お問い合わせください。

ヨドコウ迎賓館 (公式ホームページ)



丘陵の緑にしっかりと溶け込む「ヨドコウ迎賓館」。F・L・ライトが提唱した有機的建築の種子は、邸宅文化の街・芦屋において、大輪の花を咲かせた

名建築を訪ねて Vol.01 | 訪問した人 株式会社モレス 古谷 雄一

今回、ヨドコウ迎賓館を訪れたのは、モレスを代表する建築家である古谷雄一。その人にとって、その家族にとってのベストなデザインを常に追求し、豊かな個性と感性が際立つ住まいづくりに取り組む気鋭のアーキテクトです。



株式会社モレス (公式ホームページ)

- 1 当初案ではなかったが、施主の強い希望で実現した和室
- 2 床の間の上には、応接室と同じ高窓が連なる
- 3 和室の大窓から外の木立を眺める岩井館長(右)と古谷

- 4 書斎の机といすは、山邑家で実測された現物の図面と写真をもとに復元
- 5 4階バルコニーから食堂方面を望む。突き出た白い塔は食堂の暖炉に、庇の上に並ぶ飾り石は高窓に通じている

モレスの住まい、
モレスの人

#001
芦屋市 K様邸

芦屋の
邸宅街に建つ
真っ白な四角の家

2階リビング・ダイニングに続くキッチンで語らうご夫妻。
大窓から差し込む光が、白で統一された空間に
温かな表情を生み出す。



リビングほぼ中央に設けられた階段口周りは強化ガラス製。視界も外光も遮られることがない



リビングの一角にあるキッチンもやはり白一色。何かと忙しい奥様のために、ご主人がコーヒーを入れることも多いという

コンセプトは「すみずみまで繊細で美しい空間」

芦屋市の大きな住宅が並ぶその一角に、K様邸があります。正面から見えるのは、打放しコンクリートのアプローチと車庫、白い壁面のみ。端正な外観に圧倒的な存在感があります。

玄関から内側に入ると雰囲気は一変。広々としたエントランスの向こうに開放的な空間が続いています。中でも圧巻なのが2階のリビング・ダイニングルーム。「真っ白な四角の空間」を象徴するこの空間は100㎡近く。南側には大きな開口部が設けられ、豊かな外光で室内を満たします。シンプルな造形の内側にこれほど開放的な空間が広がっているとは、誰も想像できないでしょう。

「大勢のお客様を招いてパーティーを開くことも多いので、広々とした開放感のある空間にしてください、でも外からは見えないように、と。ずいぶん無理なお願いだったと思うのですが、本当に実現したのはうれしかったですね」

日中は時とともに移ろう光が繊細な表情をもたらし、夜は抑えた照明が柔らかな陰影を生み出す真っ白なリビング。「一番好きな場所です」というお二人の言葉は、私たちにもうれしい限りです。

精密なディテールとあふれる外光がもたらす圧倒的な「白」の開放感

想像以上の開放感をリビングにもたすために、モレスでは、さまざまな設計技法を駆使しています。例えば、窓側の天井は、通常の住宅よりも約150cm高いレベル。木造ではほぼ限界に近い天井高にすることで、大きな開口部と上下方向の開放感を確保しています。また、階段周りの壁にはあえて強化ガラスを採用。一見大胆な設計ですが、設計担当者によると、豊かな視界と外光を生かし切るには、これ以外の選択肢は考えられなかったのだとか。

ディテールの美しさにもこだわっています。その一つが壁と床、壁と天井の納まり。普通の施工では、納まりの誤差を巾木やモールで隠すのですが、細部まで美しい空間をというお二人のご要望で、ここでは一切使わず、見切りの精度を徹底的に追求。エッジの立った精密な納まりを実現しました。

同様のこだわりは、エントランスと主寝室に採用されたライン型のLED照明にも生かされています。照明でありながらインテリアでもあるこのLEDも、シックな美しさを追求したこの邸宅を象徴するアイテムの一つです。



美しさを追求した天井仕上げ

天井と壁の境目はクロス連続仕上げがモジュール処理が多いが、前者は境界のラインがぼやけがちで、後者は視覚的なノイズになりやすい。K様邸では取合い部を巻き込み仕上げにすることで、境界のラインだけをしっかり出している



日没後のリビングを照らすのは、間接照明の柔らかな光。家具や装飾はごく少数に限っているという

リビング南側の壁に設けられた開口部。ガラスの向こうに、邸宅正面を構成する白い壁が見える





外壁(左手)と邸宅本体との間に設けられた中庭は吹き抜けの自由空間。中央には涼し気な枝ぶりのアオダモをシンボルツリーとして植えた

- 1 主寝室に隣接する大型ウォークインクローゼット。寝室内に余計な家具がないのは、この収納空間があるため
- 2 ダブルボウルの大型洗面台を設置した1階奥の洗面室。ここから主寝室へは、廊下を通らずに行き来できる



ライトアップに浮かび上がるK様邸の外観。シャープな造形とモノトーンの色調は、邸宅というよりも現代美術の作品のようにも見える

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



「二度の打合せだけで、想像を超えるプランが上がってきた」

「一般に、こだわりのつまった空間ほど、設計にも手間ひまがかかります。しかし、K様邸の場合はもっとシンプルでした。お二人によれば「最初の打合せがすべて、それで全部決まりました」。

この打合せでは、ご夫妻が考える空間イメージや生活スタイルなどをきめ細かく伺っています。担当者は、その内容や周辺の環境などを勘案し、基本設計を作

成。次の打合せにご提案しました。「それが私たちのイメージどおりの空間にまとめられていて…。外構も完璧で、本当にワクワクしました」

2階の階段回りやエントランスのLED照明など、想像以上の提案にも目を見張られたそうです。

「あんな発想は普通では出ませんよね。完成までは少し不安でしたが、出来上がってみると、これはすごいと感動しました」

2023年の竣工後も、この邸宅は深い満足感をもたらしているといえます。

「仕事の帰り道、ライトアップされた外観を見ると、誇らしくてテンションが



心地よい快適さと暮らしを楽しむための空間デザイン

凛とした美意識が息づくK様邸は、高度な快適さをすみずみまで追求した邸宅でもあります。中でも奥様に喜ばれたのが、1階主寝室回りの動線設計。ウォークインクローゼット、洗面室、浴室までが自由に行き来できるため、効率よく家事が済ませられます。また、1階玄関の大型シューズインクローゼット、2階キッチン横のパントリー・ストレージルーム、リビングダイニングに設けられた壁面収納など、収納設計には十分以上の余裕を持たせました。いずれもすっきりと美しい空間で過ごしたいというお二人の要望に沿う設計となっています。

もう一つの見えない工夫が空調。200㎡を超える床面積に加え、2階には大きな吹き抜けも設けられているのですが、導入したエアコンは3台だけ。寒さが苦手という奥様も、この冬はエアコンを切り、床暖房だけで過ごすことが多かったといえます。

「断熱設計に力を入れていただいたのがよかったです。こういう設計設備は見えないですが、間違いなく生活の質を上げますね。次の夏も想像以上に快適に過ごせるだろうと期待しています」



広々としたエントランスから2階へ続く階段を望む。天井と壁のシャープな光は、ライン型のLED。右手正面に見えるドアは、シューズインクローゼットの入口



- 1 2階リビングへ続く階段の全景。ガラス製の上部出入口が、トップライトの役割をしているため明るい
- 2 主寝室の色彩は、真っ白な邸内で唯一の黒。照明はエントランスと同じライン型のLEDを採用している



細部までこだわった美術館のような住まい



緑を眺める家



重厚感と抜け感が調和した茶色い家



モダンラグジュアリーな家



家族の気配を感じる家



凛とした佇まいの家



内と外につながる家



水盤のある家



白い家



くつろぎと仕事を両立できる家族想いな住まい



中庭を取り囲む家



空に近い家



中庭のある家



アウトサイドリビングのある家



二つの庭で自然と繋がる家



吹抜けの玄関が美しい家



家族を出迎えるコートハウス



カフェのような家



緑に包まれた平屋の住まい



アジアリゾートの家



洗練されたクローズドデザインの家

街に広がる、街を彩るモレスの家 MORES GALLERY

お客様のご要望と、建築家たちの経験と知識と美学が結晶して創り上げられた、モレスの家。
外観デザインから外構や玄関、リビング・ダイニング、キッチン、インテリアに至るまで
どの家どの空間をとっても同じものは存在しません。
すべてが世界でただ一つの家、これまでに竣工したモレスの家の中から、その一例をご紹介します。



玄関前の演出が美しい家



猫と暮らす家



目線と視界を意識した家



木漏れ日の中で音色が響き渡る家



洗練されたグレートーンの家



真っ白なキャンパスハウス



空間と素材の魅力を引き出したコの字型の家



シンボルツリーを取り囲む家



季節の移ろいを感じる家



やわらかな光が注ぐ家



室内に「外」を感じる家



家族だけの空が見える、キューブ型ハウス



個性あるギャラリーのような家



温もりを感じる木目調ハウス



光を感じ、風を感じる住まい



窓から空と緑が映す家



アジアンテイストのおもてなしハウス



黒の濃淡と異素材のコントラストが織りなす住まい



セカンドリビングのある家



シンプルさの中に、高い意匠性が見え隠れした邸宅



パノラマ眺望の家



スタイリッシュの中にもあたたかみのある家



空からの光を浴びる家



黒に陰影が映える家

20年間保証システム		お引き渡し	5年目	10年目	15年目	20年目
保証内容	構造躯体	初期保証10年		延長5年	延長5年	
	雨水の浸入防止	初期保証10年		延長5年	延長5年	
定期点検(無償)		6ヶ月点検 無償	1年6ヶ月点検 無償	10年点検 無償	15年点検 無償	20年点検 無償
有償メンテナンス	雨水の浸入防止 (屋根・外壁・庇)				●	●
	雨水の浸入防止 (ベランダ・屋上)			●	●	●
地盤保証		初期保証20年				
防蟻(白アリ)処理	保証	初期保証5年	延長5年	延長5年	延長5年	
	有償メンテナンス		●	●	●	●

* 有償メンテナンス工事を実施の上、延長保証された方は、15年点検、20年点検を無償で実施します。

● **地盤保証(保証期間:20年間)**

建築基準法に準じた地盤調査の結果を第三者の保証機関が解析し、適切な基礎仕様をご提案すると共に、万が一の不同沈下に対する原状回復費用を5,000万円(税込)まで補償します。

● **防蟻保証(初期保証期間:5年)**

住宅の土台や構造材にシロアリなどの被害を防ぐ処理を施しています。5年ごとに点検(無償)及び有償の防蟻処理を実施することにより5年ごとに延長が可能です。

リフォーム・植栽お手入れ

ご入居後、例年の植栽のお手入れや経年変化に応じたご自宅のメンテナンスをお引き受けするとともに、将来のリフォームやライフスタイルの変化に応じた大規模なリノベーションにも対応。住まいの新築時にご一緒させていただいた弊社でしかできない対応や提案で、末長いご満足をお届けしてまいります。



TOPICS

MORES
住まいのトラブル
相談窓口

水道の水漏れや配管のつまり、設備機器の故障など、住まいのトラブルにも、相談窓口で受け付け。復旧に向けた迅速な対応を行います。

お電話でのお問い合わせ
0798-26-0100
10:00~18:00/火・水定休

「いつまでも安心して
お住まいいただけますように」

住宅は、普段からご自身で必要なメンテナンスを実施していても、築年数とともに劣化損傷や老朽化が徐々に進行します。特に10年目以降は「経年劣化による雨漏り」といった大きなリスクも他人事ではありません。

モレスでは、2022年より20年保証をスタート。それ以前にお引き渡しのオーナー様に対しても、10年目の無償点検を実施しております。プロの目でチェックさせていただき、必要に応じて補修工事(※)を実施させていただきます。

お引き渡しして終わりではなく、オーナー様の大切な住まいを安心して末長く住み続けられるようサポートさせていただきます。

※補修工事は有償となります

アフターサポート担当
松本賢三

安心して暮らせるという品質を、もっと。

After Support

Vol.01

「一生のお付き合い」

モレスでは、お住まいの「20年間保証システム」を導入。お引き渡し日から2年間に2回の建物無料点検をはじめ、定期的な無料点検と適切なメンテナンス工事によって、末永く安心してお住まいいただける家をご提供しています。

また、建物の修繕やリフォームを承り、住まいの資産価値維持やライフスタイル変化にも対応しています。

充実のサポート体制で、住まわれてから始まる「一生のお付き合い」を、モレスは大切にしています。



住まいの20年間保証システム

「MORES+」

構造躯体・雨水の浸入防止について、20年間保証システム「MORES+(モレスプラス)」を導入し、10年間の初期保証終了後も無償の定期点検及び適切な有償メンテナンス工事を行うことにより、この部分の保証を最長20年まで延長することができ、末永く安心してお住まいいただけるようサポートいたします。

*20年保証は、2022年6月以降にお引き渡しした建物から適用となります

● 初期保証(お引き渡しから10年間)

モレスでは、株式会社日本住宅保証検査機構(JIO)の新築住宅かし保険に加入。万が一、当社が倒産した場合などでも、原則2,000万円までの補修費用が保険法人からお客様へ支払われる仕組みになっています。

補修費用
2,000万円まで
補償

住宅瑕疵担保責任保険による保証

新築住宅では、住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づき、住宅の主要構造部分の瑕疵について10年間の瑕疵担保責任を負うこととされています。

● 延長保証(5年ごとの延長で最長20年間)

構造躯体と雨水の浸入を防止する部分について、初期保証の期間満了後も適切な有償メンテナンス工事を行うことで最長20年(5年ごとの延長)まで、保証の延長ができます。

● 定期点検(無償・建物お引き渡し後)

お引き渡しからお客様に安心して長く住んでいただけますように定期点検(無償)を実施しています。当社専属のスタッフが大切なお住まいをチェックさせていただきます。